

令和3年度 第1回 阿倍野区区政会議及び「ご意見シート」で
いただいたご意見に関する区役所の考え方

①【福祉避難所について】

防災事業について、政府の考えとしては、一般避難所へ行った後に、援護を必要とする方がそこから福祉避難所へ移るというのは手数がかかるので、福祉避難所が先に設置される必要があるとの記事が新聞に掲載されていたが、その辺りを教えてほしい。
要援護者名簿があるので、避難の際には福祉避難所へ直接行ってもらうことができれば早く避難することができ、負担もかからないと思う。

阿倍野区では福祉避難所として、民間の福祉施設、高齢者施設、障がい者施設へ協力を働きかけ、現在 11 施設の福祉避難所の指定を進めてきました。引き続き福祉施設の協力を得られるよう働きかけ、拡充に努めてまいります。災害時には、福祉避難所施設も被害を受ける可能性があり、避難できない状況も想定され、大阪市では、二次避難としています。今後は、福祉避難所への一時避難について、内閣府が令和3年度にモデル事業を実施しており、阿倍野区としても検証結果などをふまえ、検討を進めてまいります。



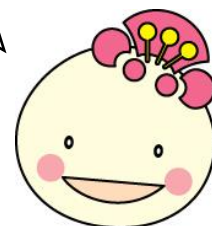
②【交通安全について】

先日小学校の子どもたちの列に車が突っ込み、亡くなられた事故があった。阿倍野でも細い道の通学路や、危ない状態、ガードレールのない歩道があるので、いろいろ対応しているとは思いますが心配している。交通安全に関する取組みの中で、子どもたちの登下校時の見守りをしているとのことだが、体制の整備をどうするかをチェックして、足りないところがないか確認してほしい。
(永岡委員)

先ほども話があったが、小学校児童の相当ひどい状況の交通事故があったということで、私たちが相当悲しんでいる。阿倍野区には小学校 10 校あるが、毎朝 7 時半から 8 時半まで子どもたちの安全のために見守っていただいている方々が多々おられる。阿倍野区では事故というのはあまり聞いていないが、本当に大変なお仕事であり、大雨の中でも傘を差しカッパを着て、ずぶ濡れになりながら子どもたちの安全を見守っているということも、区役所として認識していただきたいと思う。(高岡委員)

平素より子どもたちの安全のため、地域の皆様方に登下校時の見守りを続けていただいているおかげで、区内では登下校中の大きな事故もなく、安全に通学できておりますことに心より感謝申し上げます。

区としても登下校時の安全確保は重要な課題と認識しているところです。これまでの「通学路安全プログラム」に加え、区として、学校、建設局、警察を含めた通学路の安全確認とその対策を検討するプロジェクトチームを新たに立ち上げ、子ども見守りボランティアの方々などのご意見も伺いながら危険個所の洗い出しや対応策の検討を行っていきます。



③【登下校時の安全確保について】

1-2-2 交通安全に関する取組みについて、先日千葉県で発生した学童の下校時の災害について、会議の際にも意見がありましたが、PTA 側が市に対して歩道策柵をつけて欲しいとの要望があったのに予算の関係で後廻しになっていたとの報道がなされていた。阿倍野区内にも沢山の校区があるが大丈夫でしょうか？

私も毎朝、子どもの見守りボランティアをしています。危険を感じている事があります。もう一度阿倍野区も洗い直してはいかがでしょうか。一番良く判っているのは見守りボランティアだと思う。

方法としてはボランティアと学校で討議し、それが学校、区政、警察と審議するのが最良と思う。(宮本委員)【事後シート】

区としても登下校時の安全確保は重要な課題と認識しているところです。これまでの「通学路安全プログラム」に加え、区として、学校、建設局、警察を含めた通学路の安全確保とその対策を検討するプロジェクトチームを立ち上げ、子ども見守りボランティアの方々などのご意見も伺いながら危険個所の洗い出しや対応策の検討を行っていきます。

